

## 「第3期堺文化芸術推進計画」(案)の修正内容について

### 【本編】

該当ページ	旧	新
P10	<p>「堺市立文化館（堺 アルフォンス・ミュシャ館）」は、アール・ヌーヴォーの巨匠ミュシャの世界有数のコレクションを有しており、芸術鑑賞の場を提供しています。今後、堺に関連する歴史、芸術、民俗、産業等に関する資料の収集・保管・展示を行う「堺市博物館」と合わせて必要な機能を集約し、類いまれな歴史文化の継承・発信・連携の拠点となる（仮称）堺ミュージアムの整備を推進します。</p>	<p>「堺市立文化館（堺 アルフォンス・ミュシャ館）」は、アール・ヌーヴォーの巨匠ミュシャの世界有数のコレクションを有しており、<b>テーマにあわせ年3回の展覧会を開催しているほか、学校園等へのアウトリーチ活動も行うなど、市内外の方に芸術鑑賞の場を提供しています。</b></p>
P21	<p>古来から継承・発展してきた堺の豊かな文化資源にイノベーションを加えることで、伝統の継承のみならず、都市の魅力向上や観光誘客につなげ、文化・観光の振興と地域活性化の好循環を創出します。また、「伝統的」な茶の湯を大切にしながらも「革新的」な事業も取り組み、茶の湯が息づく堺の定着をめざします。</p> <p>堺市が持つ文化資源（アルフォンス・ミュシャ・コレクション等）の「保存」「創造」「発信」を効果的に進めるために、デジタル技術の活用を図り、堺らしい文化の魅力を広く国内外へ発信します。</p>	<p>古来から継承・発展してきた堺の豊かな文化資源にイノベーションを加えることで、伝統の継承のみならず、都市の魅力向上や観光誘客につなげ、文化・観光の振興と地域活性化の好循環を創出します。また、「伝統的」な茶の湯を大切にしながらも「革新的」な事業も取り組み、茶の湯が息づく堺の定着をめざします。</p> <p>堺市が持つ文化資源（アルフォンス・ミュシャ・コレクション等）の「保存」「創造」「発信」を効果的に進めるために、デジタル技術の活用を図り、堺らしい文化の魅力を広く国内外へ発信します。</p> <p><b>また、先人から受け継いだ堺の類いまれな歴史・文化を発信し、未来へ継承すること、ミュシャ作品をはじめとした本市のコレクションや文化財を集約し、保管・展示することを目的とした（仮称）堺ミュージアムの整備を推進します。</b></p>

該当ページ	P21
旧	<div data-bbox="306 342 1380 409" style="background-color: #FFD700; text-align: center; padding: 5px;"><b>主な取組</b></div> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="306 409 1380 488">▶情報発信を通じた市内外における文化資源の認知度向上及び観光誘客</li> <li data-bbox="306 488 1380 566">▶堺ならではの茶の湯事業の推進、周知拡大</li> <li data-bbox="306 566 1380 656">▶デジタル技術を活用した文化資源の魅力発信</li> </ul>
新	<div data-bbox="306 846 1380 913" style="background-color: #FFD700; text-align: center; padding: 5px;"><b>主な取組</b></div> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="306 913 1380 992">▶情報発信を通じた市内外における文化資源の認知度向上及び観光誘客</li> <li data-bbox="306 992 1380 1070">▶堺ならではの茶の湯事業の推進、周知拡大</li> <li data-bbox="306 1070 1380 1149">▶デジタル技術を活用した文化資源の魅力発信</li> <li data-bbox="306 1149 1380 1238">▶（仮称）堺ミュージアムの整備の推進</li> </ul>

＜第3期堺文化芸術推進計画＞概要版

計画期間：令和8年度～令和12年度



◆第3期堺文化芸術推進計画の重点的方向性と重点的施策

- ・第3期計画においては、第2期計画を継承しつつ、文化庁の動向に加え、不安定な国際情勢、急速なテクノロジーの発展をもたらす課題等がある中で、茶の湯文化が持つ独自の美意識や精神性（互いを思いやる心やわびさび等）を重視します。これらを基盤として、文化芸術のすそ野の拡大、文化芸術が子どもたちを育成する、歴史文化資源の継承・発展等、今後の堺市における文化芸術施策の方向性を明示するため、3つの重点的方向性を設定します。
- ・第3期計画期間の取組においては、新たに設定した重点的方向性を実現する施策として、それぞれの方向性に対応した重点的施策を設定し、実効性を高めます。
- ・大阪・関西万博の開催期間中の取組をレガシーとして、茶の湯をはじめとする文化資源を活用した市内誘客に取り組み、堺の未来を見据えた都市の活性化につなげます。



万博における茶の高文化の魅力発信の様子



万博におけるアルフォンス・ミュシャ作品の魅力発信の様子

重点的方向性①：文化芸術とともに生きる

- 重点的施策1-1：多様な人が身近に文化芸術を享受できる機会の充実
- 重点的施策1-2：文化施設等を活かした市民の文化芸術活動の醸成

＜主な取組＞

- ・「堺市文化芸術活動応援補助金」を通じた多様な文化芸術活動の実施
- ・「堺アーツカウンシル」による文化芸術活動のサポート、アートマネジメント人材の育成
- ・「フエニチエ境」や「さかい利品の社」による魅力ある事業の拡充
- ・地域文化会館の地域における文化芸術活動拠点としての機能強化

評価指標：1年間に文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行った人の割合

現状値（令和7年度）	48.5%
目標値（令和12年度）	60.0%



堺アーツカウンシル交流会



堺市文化芸術活動応援補助金採択事業

- ▶ 新たに文化芸術活動を始めようとするよう、すべての人（子ども、若年層、現役世代（子育て世帯含む）、高齢者や障がい者、外国人等）が身近な地域で様々なジャンルの文化芸術活動に触れる機会を創出し、文化芸術のすそ野を広げる。
- ▶ フエニチエ境や各地域文化会館、公民館、図書館、福祉施設等を含む様々な場所で市民が自由に文化芸術活動に触れる場を形成する。

重点的方向性②：文化芸術が子どもたちを育てる

- 重点的施策2-1：未来を担う子どもたちが文化芸術に触れる場の充実
- 重点的施策2-2：子どもたちの育成に寄与する芸術家の育成

＜主な取組＞

- ・市内学校園での文化芸術鑑賞機会の拡充
- ・乳幼児を含む子どもたちや保護者が文化施設や地域会館で文化芸術に触れる機会の充実
- ・中高生や大学生が更に興味を深めきっかけとなる相談や活動の場の創出
- ・子どもたちと文化芸術をつなげる人材育成のワークショップ実施

評価指標：学校園や文化施設等で文化芸術鑑賞又は体験した子どもの人数

現状値（令和6年度）	9,671人
目標値（令和12年度）	13,000人



子ども食堂における芸術家派遣事業



学校園における芸術家派遣事業

- ▶ 文化芸術は、創造力と感性を備えた豊かな人間性を育み、人間が人間らしく生きる糧となるものであり、子どもたちの教育において極めて重要である。乳幼児を含む子どもたちが身近な場所で文化芸術に触れ楽しむことができる機会（アトリーチやインリーチ）を充実させる。
- ▶ 子どもたちが文化芸術に触れる機会を増やすため、芸術家の育成を推進する。
- ▶ 学校や教育委員会と連携し、学校部活動の教育的意義を継承しつつ、こどもが継続的に文化芸術活動に関心する機会を創出する。

重点的方向性③：歴史と文化を未来へ伝える

- 重点的施策3-1：文化資源を活用した都市魅力の向上
- 重点的施策3-2：茶の湯が息づく堺の定着

＜主な取組＞

- ・情報発信を通じた市内外における文化資源の認知度向上及び観光誘客
- ・堺ならではの茶の湯事業の推進、周知拡大
- ・デジタル技術を活用した文化資源の魅力発信



茶の湯が息づく堺「茶の湯が息づく堺」ロゴマーク

評価指標：さかい利品の社、伸庵等での呈茶体験人数

現状値（令和6年度）	23,529人
目標値（令和12年度）	26,000人



さかい利品の社での立礼茶席



堺市茶室伸庵

- ▶ 古来から継承・発展してきた文化資源にイノベーションを加えることで、伝統の継承、都市魅力の向上、観光誘客等につなげ、文化・観光の振興、地域の活性化の好循環を創出する。
- ▶ 「伝統的」な茶の湯を大切にしながら「革新的」な事業も取り組み、茶の湯が息づく堺の定着をめざします。
- ▶ 文化資源を「保存」、「創造」、「発信」するためにデジタル技術を活用する。

＜第3期堺文化芸術推進計画＞概要版

計画期間：令和8年度～令和12年度



◆第3期堺文化芸術推進計画の重点的方向性と重点的施策

- ・第3期計画においては、第2期計画を継承しつつ、文化庁の動向に加え、不安定な国際情勢、急速なテクノロジーの発展をもたらす課題等がある中で、茶の湯文化が持つ独自の美意識や精神性（互いを思いやる心やわびさび等）を重視します。これらを基盤として、文化芸術のすそ野の拡大、文化芸術が子どもたちを育成する、歴史文化資源の継承・発展等、今後の堺市における文化芸術施策の方向性を明示するため、3つの重点的方向性を設定します。
- ・第3期計画期間の取組においては、新たに設定した重点的方向性を実現する施策として、それぞれの方向性に対応した重点的施策を設定し、実効性を高めます。
- ・大阪・関西万博の開催期間中の取組をレガシーとして、茶の湯をはじめとする文化資源を活用した市内誘客に取り組み、堺の未来を見据えた都市の活性化につなげます。



万博における茶の高文化の魅力発信の様子



万博におけるアルフォンス・ミュシャ作品の魅力発信の様子

重点的方向性①：文化芸術とともに生きる

- 重点的施策1-1：多様な人が身近に文化芸術を享受できる機会の充実
- 重点的施策1-2：文化施設等を活かした市民の文化芸術活動の醸成

＜主な取組＞

- ・「堺市文化芸術活動応援補助金」を通じた多様な文化芸術活動の実施
- ・「堺アーツカウンシル」による文化芸術活動のサポート、アートマネジメント人材の育成
- ・「フエニチエ境」や「さかい利品の社」による魅力ある事業の拡充
- ・地域文化会館の地域における文化芸術活動拠点としての機能強化

評価指標：1年間に文化芸術を鑑賞した又は文化芸術活動を行った人の割合

現状値（令和7年度）	48.5%
目標値（令和12年度）	60.0%



堺アーツカウンシル交流会



堺市文化芸術活動応援補助金採択事業

- ▶ 新たに文化芸術活動を始めようとするよう、すべての人（子ども、若年層、現役世代（子育て世帯含む）、高齢者や障がい者、外国人等）が身近な地域で様々なジャンルの文化芸術活動に触れる機会を創出し、文化芸術のすそ野を広げる。
- ▶ フエニチエ境や各地域文化会館、公民館、図書館、福祉施設等を含む様々な場所で市民が自由に文化芸術活動に触れる場を形成する。

重点的方向性②：文化芸術が子どもたちを育てる

- 重点的施策2-1：未来を担う子どもたちが文化芸術に触れる場の充実
- 重点的施策2-2：子どもたちの育成に寄与する芸術家の育成

＜主な取組＞

- ・市内学校園での文化芸術鑑賞機会の拡充
- ・乳幼児を含む子どもたちや保護者が文化施設や地域会館で文化芸術に触れる機会の充実
- ・中高生や大学生が更に興味を深めきっかけとなる相談や活動の場の創出
- ・子どもたちと文化芸術をつなげる人材育成のワークショップ実施

評価指標：学校園や文化施設等で文化芸術鑑賞又は体験した子どもの人数

現状値（令和6年度）	9,671人
目標値（令和12年度）	13,000人



子ども食堂における芸術家派遣事業



学校園における芸術家派遣事業

- ▶ 文化芸術は、創造力と感性を備えた豊かな人間性を育み、人間が人間らしく生きる糧となるものであり、子どもたちの教育において極めて重要である。乳幼児を含む子どもたちが身近な場所で文化芸術に触れ楽しむことができる機会（アトリーチやインリーチ）を充実させる。
- ▶ 子どもたちが文化芸術に触れる機会を増やすため、芸術家の育成を推進する。
- ▶ 学校や教育委員会と連携し、学校部活動の教育的意義を継承しつつ、こどもが継続的に文化芸術活動に関心する機会を創出する。

重点的方向性③：歴史と文化を未来へ伝える

- 重点的施策3-1：文化資源を活用した都市魅力の向上
- 重点的施策3-2：茶の湯が息づく堺の定着

＜主な取組＞

- ・情報発信を通じた市内外における文化資源の認知度向上及び観光誘客
- ・堺ならではの茶の湯事業の推進、周知拡大
- ・デジタル技術を活用した文化資源の魅力発信



茶の湯が息づく堺「茶の湯が息づく堺」ロゴマーク

評価指標：さかい利品の社、伸庵等での呈茶体験人数

現状値（令和6年度）	23,529人
目標値（令和12年度）	26,000人



さかい利品の社での立礼茶席



堺市茶室伸庵

- ▶ 古来から継承・発展してきた文化資源にイノベーションを加えることで、伝統の継承、都市魅力の向上、観光誘客等につなげ、文化・観光の振興、地域の活性化の好循環を創出する。
- ▶ 「伝統的」な茶の湯を大切にしながら「革新的」な事業も取り組み、茶の湯が息づく堺の定着をめざします。
- ▶ 文化資源を「保存」、「創造」、「発信」するためにデジタル技術を活用する。